

インターネットを活用して集客アップ

連載第8回

有馬温泉 太閤の湯
温泉コンシェルジュ
岩浅春花さん

ニフティが運営する国内最大級の温浴施設「コミ情報サイト」@nifty温泉」は温浴施設が手軽に情報発信を行える新サービス「ニフパス」を開始した。ニフパスを使って集客に成功した施設に話を伺い、ニフパスの活用方法を紹介する。



有馬温泉のテーマパーク

有馬温泉太閤の湯（神戸市北区）は、敷地面積2万平方メートルの広大な敷地に、24種類のお風呂（金・銀・銅・鉄・炭酸泉・人・工・V）と岩盤浴を備えた有馬温泉最大の温泉テーマパーク。日帰り客だけではなく、併設の「有馬ビューホテル」の宿泊客も利用できる。

施設単独では情報管理に難

前身の有馬ヘルセンターは1962年創業。温泉だけではなく演芸やボーリング場なども備えた総合レジャー施設だったが、シニア層に偏った客層と入込数の伸び悩みで閉館。2005年4月に現在の太閤の湯としてリニューアルオープンした。

た。

温泉に特化した大規模施設になり、若年層からファミリー、シニアまで幅広く集客する人気施設に生まれ変わった。さらに、来年1月16日〜2月21日に全面改装を予定。「歴史探訪」をテーマに大浴場には「黄金の蒸し風呂」、庭園にはヘルスレーン「官兵衛古道」などを新設する。

施設側が知らないうちにフェイスブックに三つのアカウントが勝手に作られ、施設側が非公認のアカウントに書き込むこともあった。

「『いいね！』も三つに分かれ非効率。施設が管理していない個人の運営では、問題が生じた時の対応に責任が持てないと感じていた」と語る。

バックアップ体制が手厚く

そのような時にアカウントからアドバイスを受け、8月から始まったニフパスを体験。

「書き込みが同時にツイッター、フェイスブック、@nifty温泉のページにアップできる。手間が格段に減り、作業

が簡単になった」と驚いた。

さらに「分からないところはすぐに連絡して対応してもらえる。毎日のように電話したこともある」と、同社の手厚いバックアップ体制に助けられている。もちろんニフパスだけではなく、SNSの基本的な使い方も教わっているという。今ではアカウントも整理し、公式だけに統一した。「先日（施設で飼っている）オオサンショウウオの話題を掲載したら、さっそくお客さまから『見た来た』と言われた」と、ニフパスの威力に手応えを感じている。

『ニフパス』の問い合わせは

「ニフパス」事務局(株)アクトパス

☎03(3524)2681(平日午前10時〜午後6時)

aqutpas_nifty@list.nifty.co.jp

資料請求は

http://onsen.nifty.com/magazine/nifpas/



有馬温泉 太閤の湯

神戸市北区有馬町池の尻292の2

☎078(904)2291

24種類のお風呂と岩盤浴を楽しむことができる西日本最大級の温浴施設



ニフパスで作ったページ